

## 令和六年度 東京都立美原高等学校入学式 校長式辞

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。また、御来賓の皆様には、御臨席を賜り、このように盛大な入学式を挙行できますことを厚く御礼申し上げます。保護者の皆様には、本日のお子様の御入学をさぞかし心待ちにされておられたことと思います。今、その晴れ姿を目の当たりにされ、お喜びもひとしおであろうかと拝察いたします。

先ほど、入学を許可いたしました、197名の生徒の皆さんを確かにお預かりいたしました。本校の教職員の持てる力を最大限に発揮し、指導に当たりますことをお約束いたします。

さて、新入生の皆さん。皆さんは今、この晴れの場にあって、本校での新しい学校生活に、様々な期待をもち、胸をふくらませていることと思います。

本校は、平成十七年四月に東京都立大森東高等学校と東京都立南高等学校が発展的に統合され、全日制普通科の特色ある単位制高校として誕生し、二十周年目を迎えます。

創立時より本校の合言葉は「自律共生」です。「自らを律し、共に生きる」と書きます。

そして、この『自律』は、日々の学校生活の中で、一步一步なされていきます。本校では、日々の授業を何よりも大切にします。それぞれの教科で、基礎基本の定着を図るとともに、興味・関心を高める実践的な学習を進め、豊かな教養を育む授業の展開を行っております。日々の授業こそ、君たちにとっての『自律』の第一歩であること。忘れないでください。

さて、みなさん、本校の校章は、幸運のシンボルである四つ葉と陽光で図案化したものですが、四つ葉のクローバーのクローバーとはどのような植物であるかご存知でしょうか。和名はシロツメクサ、ヨーロッパ原産のマメ科植物です。マメ科の特徴は、土地に養分が少なくてもよく育つことです。なぜならば自身の根の中で養分を作ってしまうからなのです。ただし、その根の中を注意深く観察すると根粒菌という微生物が住み着いていることがわかります。

すなわち、マメ科植物は光合成で得たエネルギーを根粒菌に与え、根粒菌は大気中の窒素から養分を合成し、マメ科植物に与えるというお互いに利益を与え合う関係が成立しているのです。生物学用語ではこれを共生といいます。

まさに美原のクローバーは、共生のシンボルということが出来ます。

新入生の皆さん。およそ、入学式の意義は、先輩たちが、築いてくれた輝かしい伝統を、しっかりと受け継ぎ、それをさらに発展させるよう、自らの誓いを立てることにあります。その誓いは、自分自身に対しても、保護者の皆さんに対しても、また学校に対しても、「堅く」かつ「心から」なされなければなりません。

創立から本校の卒業生は、すでに三千名を超え、先輩方は、様々な分野で活躍されています。君たちは、このような先輩方に引き続き、さらなる伝統を創造していく一人となります。一人ひとりの個性を大切にす本校で学んでいくことに胸を張り、これからの学校生活を歩んでください。

結びに、保護者の皆様と私たち教職員は、今日から、新入生の皆さんを「導き、育む」という同じ目標に取り組むことになりました。共に育てることの基本は、学校と家庭の相互の理解と信頼にあると考えます。私たち教職員は、力を尽くし、一人一人を大切に、きめ細かく指導して参ります。そして、皆様の期待に応える学校づくりに努めて参ります。保護者の皆様におかれましても、本校の教育活動に対するご理解とご協力を賜りますよう、改めてお願い申し上げます、式辞といたします。

令和六年四月九日

東京都立美原高等学校長

亀崎隆彦